

1

様々な発達障害のタイプ

自閉症

Aちゃんの例



急に予定が変わったり、初めての場所に行くと不安になり動けなくなることがよくあります。そんな時、周りの人が促すと余計に不安が高くなって突然大声を出してしまうことがあります。周りの人には、「どうしてそんなに不安になるのかわからないので、何をしたらよいかわからない」と言われてしまいます。

でも、よく慣れた場所では誰よりも一生懸命、活動に取り組むことができます。

(ここにあげたのは自閉症の人の特性の一例であり、他にも様々なタイプの特性があります。また、上記の特性だけをもって自閉症と断定されるものではありません。)

アスペルガー症候群

Bくんの例



他の人と話している時に自分のことばかり話してしまって、相手の人にはっきりと「もう終わりにしてください」と言われないと、止まらないことがよくあります。周りの人には、「相手の気持ちがわからない、自分勝手にわがままな子」と言われてしまいます。

でも、大好きな電車のことになると、博士と言われるぐらい専門家顔負けの知識を持っていて、お友達に感心されます。

(ここにあげたのはアスペルガー症候群の人の特性の一例で、他にも様々なタイプの特性があります。また、上記の特性だけをもってアスペルガー症候群と断定されるものではありません。)

*広汎性発達障害は、自閉症、アスペルガー症候群のほか、レット障害、小児期崩壊性障害、特定不能の広汎性発達障害を含む総称で、下記の3つの特徴が認められます

- ①相互的な対人関係技能の障害
他人との関係を作ることが苦手です。相手との距離を認識できず、親しい人でも目を合わせなかつたり、初対面の人になれなれない態度をとってしまったりして、相手の人に驚かれることがあります。
- ②コミュニケーション能力の障害
他人に意志を伝えること・理解することが苦手です。やりとりが一方通行になったり、たとえ話(比喩)を理解できず、そのまま受け取ってしまったりして、困ってしまうことがあります。
- ③反復的で常同的な行動、興味、活動のパターン
変化に対応することが苦手です。同じ行動パターンや興味にこだわったり、場所、時間や道順を変更できないことや、ルール違反を極端に嫌ったりすることがあります。変化に対応できない時は混乱してしまって、パニックを起こしてしまうこともあります。

